



名古屋グランパス 多文化共生の取り組み

2025/2/25 @第19回中部NGO-JICA中部地域協議会

株式会社名古屋グランパスエイト

広報・ホームタウン部
ホームタウングループ

佐藤 剛史

◆ホームタウン：名古屋市（約232万人）

豊田市（約42万人）

みよし市（約6万人）を中心とする愛知県全域（約747万人）

◆出資会社：トヨタ自動車（株）（株）アイシン（株）中日新聞社 愛知製鋼（株）東海旅客鉄道（株）
 （株）デンソー 中部電力（株）（株）東海理化（株）三菱東京UFJ銀行 トヨタ車体（株）
 東邦ガス（株）（株）ジェイテクト（株）名古屋銀行 豊田合成（株）名古屋鉄道（株）
 （株）豊田自動織機（株）ノリタケカンパニーリミテド 豊田通商（株）
 （株）大丸松坂屋百貨店 トヨタ紡織（株）



- ◆2024JリーグYBCルヴァンカップ優勝
3年ぶり2回目の優勝で通算5回目の
Jリーグ主要タイトル獲得



- ◆年間入場者数 最多記録更新
1995年のクラブ記録を29年ぶり
に更新



Jリーグの理念

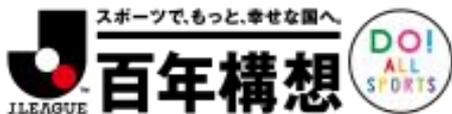
- 一、日本サッカーの水準向上及びサッカーの普及促進
- 一、豊かなスポーツ文化の振興及び国民の心身の健全な発達への寄与
- 一、国際社会における交流及び親善への貢献

Jリーグ（公益社団法人日本プロサッカーリーグ）

- 1993年 10チームのリーグ戦からスタート
- 2024年現在：60チーム ⇒ J1 20チーム／J2 20チーム／J3 20チーム
- 47都道府県のほとんどに、Jクラブ or Jリーグを目指すクラブが存在

Jリーグ百年構想～スポーツで、もっと、幸せな国へ～

- ホームタウン制で地域密着・地域とともに



- あなたの町に、緑の芝生におおわれた広場やスポーツ施設をつくること。
- サッカーに限らず、あなたがやりたい競技を楽しめるスポーツクラブをつくること。
- 「観る」「する」「参加する」。スポーツを通して世代を超えた触れ合いの輪を広げること。



「強く観て楽しいサッカー」を起点に、経営の「3本柱」を好循環かつ成長循環させる

Team

I 強く観て楽しいサッカー

攻守にアグレッシブに連動する
サッカーで常にタイトルを獲得

トップ・代表・世界で躍動する
地元選手の輩出



Fans

II 町いちばんのクラブ

常に満員で誰もが笑顔で楽しめる
赤黄で染まったスタジアム

出資会社／パートナーの皆様
に価値を感じて頂けるクラブ

生活・日常の中に存在し、
750万人の誇りとなるクラブ

サッカーを軸とした地域づくり・
街づくりへの貢献

Management

III 優勝争いのできる安定的 経営基盤

クラブ事業を基盤とした事業構造
・業界いちばん目への追求

日本いちのチーム運営
・フロント組織

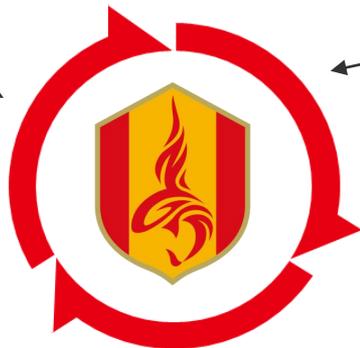
名古屋グランパスの目指す姿・ビジョン

Team

I 強く観て楽しいサッカー

攻守にアグレッシブに連動する
サッカーで常にタイトルを獲得

トップ・代表・世界で躍動する
地元選手の輩出



Management

III 優勝争いのできる 安定的経営基盤

クラブ事業を基盤とした事業構造
・業界いちばん目への追求

日本いちのチーム運営
・フロント組織

Fans

II 町いちばんのクラブ

常に満員で誰もが笑顔で楽しめる
赤黄で染まったスタジアム

出資会社／パートナーの皆様
に価値を感じて頂けるクラブ

生活・日常の中に存在し、
750万人の誇りとなるクラブ

サッカーを軸とした地域づくり・
街づくりへの貢献



グランパスの社会連携

★ホームタウンの社会課題に向き合う
取り組みを実施

★多様なステークホルダーとの連携で推進



ホームタウン活動回数／参加人数：373回／約116,150人 ※2023年

愛知県の在留外国人と在留ブラジル人（2024/6）

在留外国人は東京都に次いで全国で2番目に多い

#	都道府県	人数
1	東京都	701,955人
2	愛知県	321,041人
3	大阪府	317,421人
4	神奈川県	280,020人
5	埼玉県	249,327人

出入国在留管理庁Webサイト

愛知県は在留ブラジル人の人数が多く、長く住んでいる方が多い

#	国籍（出身地）	人数
1	ブラジル	61,305人
2	ベトナム	61,045人
3	中国	46,122人
4	フィリピン	45,852人
5	韓国・朝鮮	27,946人

愛知県Webサイト

◆スタジアムお仕事体験

地元の在留外国人の子どもたちと一緒にスタジアムで来場者をおもてなし

2023/5/13 事前ワークショップ

- ・クラブハウスにてブラジルキッズ×ボランティアでポルトガル語↔日本語の案内カードを製作
- ・ブラジル人選手がサプライズで挨拶・交流



2023/5/20 お仕事体験

- ・公式戦会場で会場案内のお仕事体験を実施
- ・当日はブラジルデーを開催しブラジル人招待イベントも合わせて実施



「在留ブラジル人の子どもたちのお仕事体験」 ソーシャルチャレンジャー賞を受賞



Jリーグチャレン! アウォーズとは

今年で4回目の開催となり、多くの協働者との連携、取り組む課題や活動に関する発信力など、地域に根差したプロスポーツクラブの持つ価値をいかに発揮している社会連携活動を称える目的で実施



アカデミー選手・共創パートナー様で共同検討し社会活動を企画～実施まで行う

目的

ホームタウン活動：多世代交流による共創アプローチを通して新たな企画を創出し貢献。
パートナーシップ：SDGsを通して、企業との新たなパートナーシップの構築を目指す。
U-18：選手の成長のために、社会性を身に付けられる環境の提供

名古屋グランパスアカデミー (U-18)



連携する自治体／企業

SDGsでの連携に関心の高い
企業や自治体



- ①パートナー様と共同でのSDGs活動の創出
- ②選手へのOff the pitch教育

SDGs活動



- ①グランパスを活用したSDGs活動の実施
- ②多世代・異業種交流へのご参画

社会課題の解決へ

SDGsアカデミー2024「在留ブラジル人キッズプロジェクト」

【実施背景】

- ・愛知県は在留ブラジル人の方が全国で最も多く、地域社会における様々な課題がある。
- ・特に子どもは日本語教育のみならず、キャリア教育の観点でのサポートも不可欠
- ・ブラジルコミュニティと日本のコミュニティとの間での相互理解不足

- ★在留ブラジル人の子どもたちを中心に地域社会との連携を深めるサポート
- ★スポーツ・文化交流を軸としたアカデミー選手による社会活動の実践
- ★ブラジルと日本の交流促進を多様なパートナーシップで実施

【共創パートナー企業】



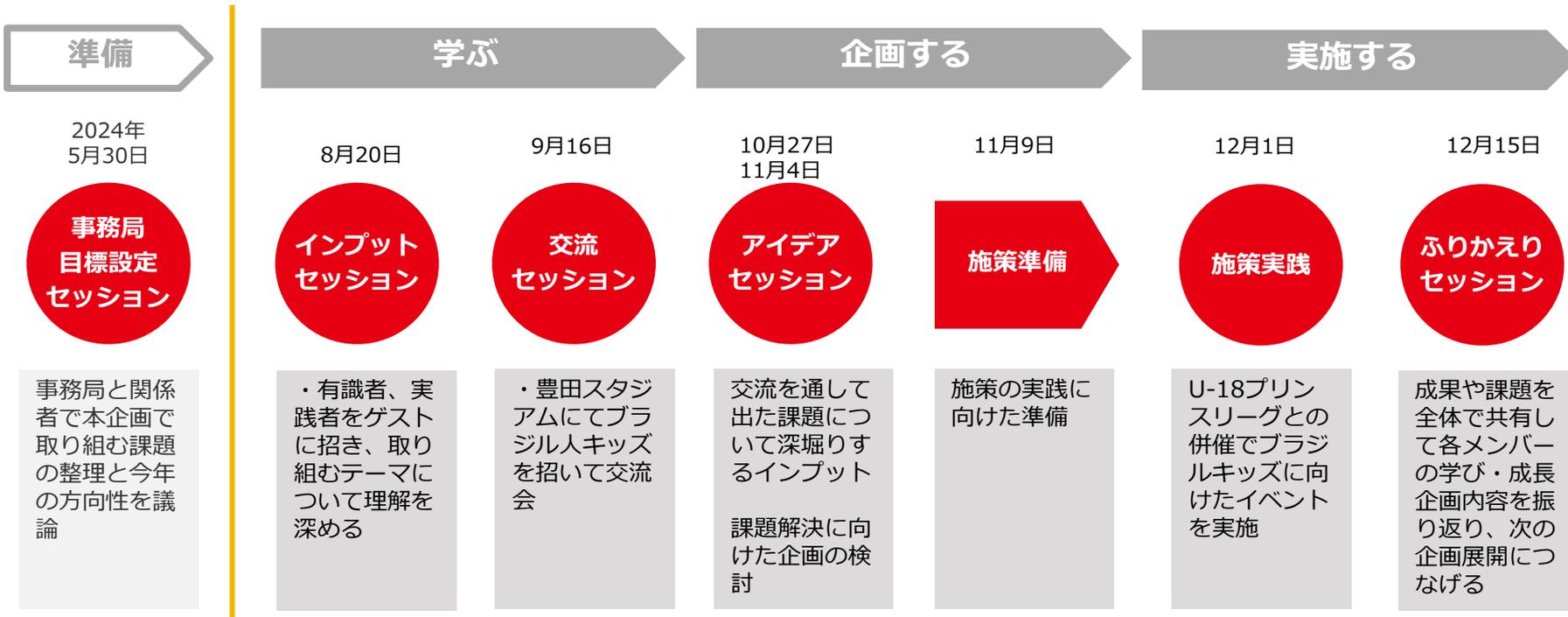
【連携先】



特別非営利活動法人 希望の光（エスコラ ネクター）



U-18選手が様々な方との共創を通して学び、企画し、実践を通してテーマに向き合う



【メディア実績】

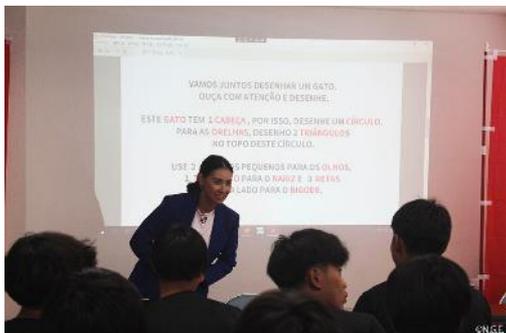
テレビ愛知

- ・キン・ドニーチ（毎週金曜 夕方5時30分放送） 月1回のコーナー 4回放送
- ・特番「丸山桂里奈のスポーツSDGs」 3月放送予定
- ・NHK名古屋での特番(調整中)

SDGsアカデミー2024 「在留ブラジル人キッズプロジェクト」

8月20日 (火)

インプット
セッション



9月16日

交流
セッション



10月27日
11月4日

アイデア
セッション



12月1日

施策実践

「ブラジルDay supported by AZAPA」

- ・プレミアリーグ 2024WEST 第21節 東福岡高戦にて開催
- ・選手がチラシを作製して参加者募集
- ・企画①エスコートキッズ
- ・企画②ランチ交流会
- ・企画③ミニゲーム大会・運動会



その他の取り組み

◆外国人招待

- ・愛知県近郊にお住いのより多くの国籍の皆さまに、世界各国で愛されているサッカー観戦をきっかけに日本のコミュニティとの接点を作る
- ・今シーズンは3/2町田戦、3/29横浜FC戦にて実施
- ・昨シーズンは9/28磐田戦で実施し、34か国／964名がご来場



Ticket campaign "Free invitation for foreigners to watch Football Match at the stadium"

外国人スタジアム観戦 無料ご招待

対象試合



3.2 日 14:00 KICK OFF



3.29 日 14:00 KICK OFF

チラシ配布にご協力いただける方、大募集中！